

日本労働年鑑 第53集 1983年版
The Labour Year Book of Japan 1983

第二部 労働運動

XII 政治的大衆行動と平和運動

5 反軍・反基地闘争

反基地全国集会

対潜哨戒機P3Cが常駐し、近く早期警戒機E2C配備も予定されている米軍三沢基地の所在地三沢市の市公会堂で、八一年九月一九、二〇日の両日、「核もち込み糾弾、日米合同演習反対、安保条約廃棄、基地撤去、自衛隊をなくす全国集会」が開催され、全国の反基地闘争の代表一八〇〇人が参加した。集会は、総評、社会党、反安保実行委員会、護憲連合などの主催によるもの。一九日の全体集会では、隈元総評国民運動局長の集会基調提案、全国の反基地闘争一〇組織の報告、評論家の山川暁夫氏の記念講演などがおこなわれた。通信所や射爆場の視察のあとに開かれた二〇日の閉会集会では、集会決議が採択された。

東富士日米陸上合同演習抗議緊急統一行動

八一年一〇月一日、東富士演習場でおこなわれようとしている陸上自衛隊と米軍の初の合同陸上演習に反対して、静岡県御殿場市で、「東富士日米陸上合同演習抗議緊急統一行動」がとりくまれた。この行動は、社会党静岡県本部、共産党静岡県委員会、静岡県評、静岡県平和委員会の四団体の主催によるもので、全国から二五〇〇人が参加した。キャンプ・フジ前に集まった参加者は、東富士演習場、陸上自衛隊滝ヶ原基地にたいして抗議デモをおこない、御殿場駅前への自動車パレードや平和行進など、多彩な活動を展開した。

P3C配備阻止県民集会

八一年一二月一〇日、新型対潜哨戒機P3Cオライオンの厚木基地への第一次配備(三機)の強行(一二月二五日)に反対して、P3C厚木基地配備阻止現地闘争本部(労組・地元住民団体)は、大和市の引地合公園で「核戦争につながるP3C配備阻止神奈川県民集会」を開き、約六〇〇〇人が参加した。参加者は、集会終了後、基地周辺をデモ行進した。

米空母入港反対佐世保集会

アメリカ第七艦隊の核空母ミッドウェイが、八一年一二月一二日、佐世保港に入港し、同日、総評、社会党はこの寄港に反対して「米空母ミッドウェイ入港反対佐世保集会」を、佐世保市内の松浦公園で開催し、約三三〇〇人が参加した。集会では、総評を代表して挨拶した谷木国民運動部長が「今回の寄港は弾薬のつみこみが目的。非核三原則の日本を承知の上で核を公然と持ちこむものだ」とミッドウェイの入港を激しく糾弾した。

日米合同演習抗議統一行動

八二年二月一五日から一九日まで、陸上自衛隊と米陸軍の初の合同指揮所(図上)演習が、静岡

県御殿場市の陸上自衛隊滝ヶ原駐屯地でおこなわれた。これにたいし、二月一四日、社会党静岡県本部、共産党静岡県委員会、静岡県評、静岡県平和委員会の四団体主催による「日米合同陸上演習抗議・核安保体制打破二・一四県民統一行動」が、滝ヶ原基地で開催され、一〇〇〇人が参加した。デモ行進のあと、主催四団体代表は基地内に入り、陸上自衛隊東部方面隊の担当者に抗議文を手渡した。一四日には、総評、社会党、護憲連合、静岡県評主催の抗議集会ももたれ、三五〇〇人が参加した。

また、日本平和委員会など五団体主催の「日米合同陸上演習反対、安保条約廃棄・富士基地行動」は、一五日の第一波デモをはじめ、一六日から一九日にかけての「有事(戦時)総動員計画反対・階層別波状デモ」などにとりくみ一九日には主催五団体代表が防衛庁を訪れ抗議した。

リムパック反対集会

三月中旬から四月下旬にかけて中部太平洋で実施される環太平洋五カ国の海軍合同軍事演習リムパック82に反対する「82リムパック反対・核兵器禁止・全面軍縮、安保条約廃棄、基地撤去三・一三集会」が、三月一三日、神奈川県横須賀市臨海公園で開催された。この集会は、総評、社会党、護憲反安保神奈川県実行委員会などの主催によるもので、一二〇団体八〇〇〇人が参加した。集会では、主催者を代表して社会党の岩垂議員が挨拶。馬場社会党書記長、谷木総評国民運動部長、露木神奈川県評議長とともに、各地の反基地運動団体の代表も決意を表明した。このあと、集会決議と「核兵器禁止、全面軍縮をめざす国連軍縮総会にむけて」の特別決議を採択、横須賀市内をデモ行進した。

日本労働年鑑 第53集 1983年版

発行 1982年11月30日

編著 法政大学大原社会問題研究所

発行所 労働旬報社

2001年9月4日公開開始

■ ←前のページ 日本労働年鑑 1983年版(第53集)【目次】 次のページ → ■
日本労働年鑑【総合案内】

法政大学大原社会問題研究所(<http://oisr.org>)
